



# 2019 年度 日本リトルシニア 第 48 回関西連盟中国支部・秋季地区予選大会

## 大会要綱

主 催	一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部
協 賛	株式会社ハークスレイ（ほっかほっか亭中国各店舗）
期 日	平成 30 年 9 月 16 日（土）～
場 所	各地区予選会場（東部地区・西部地区）
競 技 方 法	関西連盟大会規定を採用する。（一部、大会特別規定を採用） 予選トーナメント戦（三位決定戦を行う）
大 会 副 賞	【本戦出場権】 各地区予選の上位 3 チームは秋季本戦大会の出場権を獲得する。なお、入賞順位によりシード枠番号は異なる。
開 幕 式	期：平成 30 年 9 月 16 日（土）：9:00（開門 7:00～ 受付：7:30～）※予定 於：マツダ Zoom Zoom スタジアム
参加チーム	日本リトルシニア関西連盟 中国支部加盟リーグ：17 チーム（合同チーム：1）

抽 選 会	平成 30 年 8 月 25 日（土）津田恒美メモリアルスタジアム：会議室
参 加 費	大会規定額を納入（期日までに中国支部の口座に振込）
試 合 球	アシックス（シニアリーグ公認球）試合ごとに 4 球
審 判 員	本部審判員 2 名、父兄審判員 2 名（各チームから 1 名ずつ派遣） ※但し、父兄審判員については、審判部が発行する審判カード所持者に限る。
審 判 弁 当	派遣人数分支給（各チーム：1 日 1 個まで）
参 加 要 件	1. 本大会に出場できる選手は中学二年生までとし、日本リトルシニア野球協会が発行する選手・指導者カードの所持者のみ、ベンチ入りを許可する。※仮カードは不可（但し、スコアラー 1 名は除く） 2. ベンチ入りできる選手は 25 名までとし、背番号は 1～25 番までとする。 3. 専用球場を保有するチームは、当該試合の有無に関わらず、本大会の試合会場として協力できること。 4. 本大会に参加する選手（指導者含む）ならびにチーム関係者は、全ての試合においてスポンサー弁当（@600 円）を注文すること。（但し、一部球場を除く）

## 競技要項（大会特別規定）

- 1 ベンチは若番が一塁側。ロージンは後攻チーム、ボールボーイは両チーム2名とする。（ボールボーイは原則ベンチ入り選手とする。）
- 2 **今大会の父兄審判員は一塁と三塁の塁審を担当する。**なお、担当する試合は対戦表の記載どおりとする。
- 3 各球場のグラウンドルールは、試合開始前に各会場の責任審判員により説明を行う。
- 4 試合は7回または2時間制とし、5回をもって試合成立とする。（5回までは2時間超えても試合を行う）なお、試合成立後の延長戦は行わず、即タイブレイク（最大3回：1アウト満塁）を行い、なお同点の場合は最終出場メンバー（18名）による抽選にて勝敗を決定する。  
**※第4項の詳解は別紙を参照。**
- 5 5回以降7点差および4回以降10点差をもってコールドゲームとする。
- 6 メンバー交換は前試合3回終了後、大会本部が指定する場所にて、事務局長・監督・選手が集合し、所定のメンバー表（5部）を提出し、担当審判員並びに本部役員立ち会いのもと、ベンチ入りメンバーを照合のうえ、先攻後攻を決定する。
- 7 道具チェックは、シートノックタイム中に、当該試合の審判員にてベンチの外で行う。
- 8 試合前のシートノックは7分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。  
なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。（原則、各補助員は登録選手に限る）
- 9 原則、試合前のアップはフィールド内を使用しないこと。但し、**外野フィールドにおいてはアップシューズ着用に関し、アップやキャッチボールを認める。**（ノックやトスバッティングは禁止）
- 10 次試合チームの先発バッテリー1組に関し、4回終了以降、ブルペンに入って投球練習を行うことが出来る。（但し、ブルペン入場は、試合進行を妨げないよう細心の注意を払うこと）
- 11 **ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用（特にキャッチ面）し、捕手の安全を守る保護選手を1名帯同させること。**（保護選手も必ずヘルメットを着用すること）

## その他の注意事項

- 1 各チームは、会場到着後、速やかに大会運営本部が指定する受付手続きを行うこと。
- 2 各チームは、当日の試合が全て終了し、会場を退出する際は、大会運営本部が指定する退場手続きを行い、「次回指示書」を受け取ること。
- 3 審判員は第1試合の試合開始40分前までに待機し、**第2試合以降は、前試合3回終了前までに必ず審判控室にて待機する。**（審判服は支部指定）
- 4 各チームの放送係は、第1試合の試合開始40分前までに必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 5 審判へのお茶出し及び次試合のメンバー交換を促すアナウンスは行わない。
- 6 試合成績表の記録者は、名札を付け**予備球を持って記録室に入室**のこと。
- 7 各チームの応援団はメガホンを叩いての応援を禁止する。（鳴り物応援禁止）